

「総合力で未来創造に挑み続ける
博士人財育成プログラム」

Tokai-SPRING SACRA

公募説明会

事業統括 濱本 和彦
東海大学 副学長
情報理工学部 教授

April 21 2025

START 17:15
CLOSE 18:45

東海大学湘南校舎16号館505室

Tokai-SPRING SACRAの趣旨と概要

東海大学は、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）による機関支援を受けて「総合力で未来創造に挑み続ける博士人財育成プログラム（Tokai-SPRING SACRA（Supporting Aspirational Career development and Research Activities））」を2025年4月より実施します。

日本の科学技術・イノベーションの将来を担う優秀な志ある博士課程・博士課程後期学生に対して、生活費相当額および研究費の両面から経済的支援を最大3年間行います。

高い専門性と広い見識を身に付けた博士人材を育成するための教育プログラムとして、海外派遣、キャンパス間派遣、インターンシップやトランスファラブルスキル開発のためのコンテンツを提供します。

アカデミア・産業界を問わず、世界規模で活躍する多様な人材創出の場となることを目標にします。

Tokai-SPRING SACRAが育成する人材像とプログラム



高い専門性と広い見識を身に付け、総合力で自然・人・地域・企業に内在する課題の抽出・克服に挑戦する志を有する人材を育くみ、産業界等で幅広く活躍するための素養を身に付ける。

対象：東海大学大学院 博士課程・博士課程後期 1～3年次在学生
 ※先端医科学専攻は1～4年次生

募集人数①：2025年秋セメ採用開始は新規5名程度

学年 (2025年度)	入学時期	2025年秋 募集人数	支援期間 (最大) 先端医科学専攻は最大4年
1年次 (D1)	2025年9月 2025年4月	3～5名程度	3年 2.5年
2年次 (D2)	2024年9月 2024年4月	数名程度 又は採用無し	2年 1.5年
3年次 (D3)	2023年9月 2023年4月	数名程度 又は採用無し	1年 0.5年

※2025年度定員16名のうち11名は2025年4月1日付で採用決定済み

募集人数②：2026年春セメ採用開始は新規5名程度

学年 (2026年度)	入学時期	2025年春 募集人数	支援期間 (最大) 先端医科学専攻は最大4年
1年次 (D1)	2026年4月	3～5名程度	3年
2年次 (D2)	2025年9月 2025年4月	数名程度 又は採用無し	2.5年 2年
3年次 (D3)	2024年9月 2024年4月	数名程度 又は採用無し	1.5年 1年

経済的支援：

一人当たり年間282万円（生活費相当240万円、研究費42万円）
生活費相当月額20万円を指定口座に振り込みます。
雑所得として課税されるので確定申告が必要です。

キャリア開発・育成コンテンツ受講（必修および選択）：

海外派遣、キャンパス間派遣、アントレプレナーシップ、インターンシップ、
トランスファラブルスキル企画、キャリアパス開発企画、AI/IT講座、
日本語講座（留学生対象）などを受講するとともに、自身の研究に専念する。

東海大学以外の修士課程を修了する方もSACRAに応募可能：

東海大学大学院入学手続き済み、または大学院入学願書提出予定の方

Tokai-SPRING SACRA

Supporting Aspirational Career development and Research Activities

－ 東海大学のスケールメリットと総合力を活かした基礎支援と特色ある人財育成プログラム －

分野横断・ キャンパス派遣体験

札幌・熊本の実習場における
研究調査・実習補佐

地域課題抽出・ 解決ハッカソン

企業・自治体・博士学生による
チーム研究
課題設定力の強化、
ラストパーソンとしての責任

プログラムに反映

融合的思考力
独創的企画力
フロンティア開拓力
グローバル対応力
成し遂げ力

博士オートパイエーシス

国・大学に集積した博士人材データ
を用いた自己分析・企業研究
による博士のアクティビティ強化

留学生教育・支援

日本語・マナー教育の提供
日本企業就職の斡旋

全学IT/AI教育

博士前期課程から連動した
IT/AI研究力の強化

インターンシップ^o

ジョブ型研究インターンシップ
樺の会（東海大学OB経営者クラブ）

海外研鑽

大学資金投資による
協定大学（129大学）への留学

博士のキャリア形成講義群

知財教育、プレゼンテーション
ビジネススクール

キャリアパス開発

特定助手・助教制度との連携による
多層的なキャリア支援

自然・人・地域・企業に内在する課題の抽出と解決に挑戦し続ける博士人材の育成

2025年度 募集内容と応募方法等

応募資格(1/3) ※(1)から (4) のすべてと、(5)、(6)のいずれかを満たすこと

- (1) SACRAの趣旨・人材育成方針を理解し、産業界やアカデミアにおいて活躍することを希望すること、かつ、本プログラムが課すキャリア開発・育成コンテンツへの参画意欲があること。
- (2) ・ ①2025年秋セメスタ採用開始対象者は、2025年10月1日時点で在籍する者。
・ ②2026年春セメスタ採用開始対象者は、2026年4月1日時点で在籍する者、ただし応募時点では在籍見込みでも構わない。
※今回の公募から、医学研究科先端医科学専攻の学生も対象である。
- (3) 所属機関の指導教員、または博士課程の指導（予定）教員等からSACRAへの参加の同意を得ている者。
- (4) 研究倫理に関する研修（APRIN e-ラーニングプログラム(eAPRIN)「責任ある研究行為」など）を受講済みあるいは、研究費の支給が開始する2025年4月末までに受講する者。
※採用決定後に受講方法等を改めて通知する。

(5) 日本国籍を有する者、特別永住者、または出入国管理及び難民認定法の別表第二に規定される在留資格（永住者、定住者、日本人（永住者）の配偶者・子）を有する者。

(6) 「留学」の在留資格を持ち、正規の課程に在籍している私費外国人留学生である者。

支援対象外について

①日本学術振興会（JSPS）特別研究員

②東海大学 特定助手

③所属する大学や企業等から、生活費相当額として十分な水準(税込240万円/年)で、給与・役員報酬等の「安定的な収入」を得ていると認められる学生。

※「安定的な収入」とは、正社員としての給与、ベンチャー企業の役員報酬、非常勤講師給等の固定的な収入を指す。有償のインターンシップ、TA、RA やアルバイト等の収入、および研究費としての支援は「安定的な収入」に含まない。

④国費外国人留学生制度、日本政府による奨学金等、本国からの奨学金等の支援を受ける留学生

※奨学金を受給中または受給予定の学生も本プログラムへの申請は可能であるが、奨学金によっては、本プログラムに採択された際に、奨学金の採用取消や交付済み奨学金の返金を求められる可能性があることを了承のうえ申請を行うこと。

応募資格(3/3) 補足

- ・東海大学特定助手および特定助手内定者がSACRAに応募することは可能だが、SACRAに採用された場合はSACRAと特定助手の併給は不可（特定助手を辞退）。
- ・東海大学大学院研究奨励奨学金に申請可能。
- ・独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）の奨学金（貸与型）との併給は可能。
※但し、特に優れた業績による返還免除制度への申請は不可（JASSO規則）。
※独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）の奨学金（給付型）との併給は不可。

参考：博士学生支援制度の比較

Tokai-SPRING SACRA	240万円/年	研究費42万円
日本学術振興会 特別研究員	240万円/年	科研費150万円以下
東海大学 特定助手	192万円/年	（年平均3コマ授業担当）

日本学生支援機構第一種奨学金（貸与） 96万円/年または146.4万円（博士・私学）

- (1) ジョブ型研究インターンシップのシステムへ登録すること。
※ジョブ型研究インターンシップとは、産業界と大学が協力して実施する長期・有給・ジョブ型のインターンシップ制度。
- (2) 科学技術・学術政策研究所（NISTEP）「博士人材データベース（JGRAD）」に登録し、自身のキャリアの状況を登録・更新すること。
- (3) 本プログラムが指定するキャリア開発・育成プログラムへ参加すること。
- (4) 本プログラムが定めた所定の様式を用いて、毎年度の成果を報告すること。
- (5) 大学から求められた場合には、本プログラムの広報活動に、研究活動に支障のない範囲で協力すること。
- (6) 本プログラム期間終了後の各種調査に協力すること。JST「次世代研究者挑戦的研究プログラム」の趣旨に従い、終了時から10年程度、就職等の現況調査を行う予定である。
- (7) 本プログラムで指定する研究倫理教育（eAPRINなど）を受講・合格した上で、研究上の不正行為、研究費の不正使用を行わないこと。
- (8) 研究費を支給して自立的に研究を進めることから、知的財産の扱い等に関して別に定める書類等に同意すること。
- (9) その他、本学が必要と定めた事項に従うこと。

※ 日本学術振興会特別研究員への申請を推奨する

支援の停止・返還

次のいずれかに該当する場合は、研究奨励費等の支給を停止する。

- (1) 退学等により本学に在籍しなくなったとき。
- (2) 休学により、本学に在学しない期間が生じたとき（休学期間における支給を中断する）。
- (3) 懲戒による停学処分を受けたとき。
- (4) 研究における不正行為、研究費の不正使用等の行為があったとき。
- (5) 本プログラム登録後の義務を怠ったものと判断されたとき。
- (6) 各年度末の「プログラム進捗報告書」による経過審査により、進捗が著しく不十分であると判断されたとき。
- (7) 応募資格を満たさない事実があったとき、また採択後に資格を満たさなくなったとき。
- (8) 本プログラム採択者として適当でない事実があったとき。

選考方法 書面審査と面接審査の2段階選抜で総合的に判断する。

- ①書類審査：応募書類一式をTEAMS(学内者専用)またはホームページからダウンロードすること。

[Tokai-SPRING SACRA 公募情報サイト | 一般 | Microsoft Teams](#)

[総合的支援 | 教育・研究ページ | 東海大学 - Tokai University](#)

<https://www.u-tokai.ac.jp/education-research/graduate/comprehensive-support/>

※なお、申請に際しては事前に指導教員に相談し、承認を得た上で応募すること。

- ②面接審査：書面審査通過者を対象として実施する。

メールで書面審査の採否および面接審査の日時を通知する。

地方キャンパス等にはZOOM等遠隔会議で行う。

※決定した面接審査日時の変更は、いかなる理由であっても受け付けない。

※面接審査で不採択となった者に対して、補欠採用を行うことがある。

審査の観点

- ①研究計画（背景、目的、研究方法、研究計画、独創性・創造性など）
- ②これまでの研究成果（論文、受賞など）
- ③自己分析（自身の強み、弱みなど）
- ④自身の研究成果・知識・技術が社会・地域課題解決にどのように還元できるか
- ⑤Tokai-SPRING SACRAの理解度、目指す人材像、10年後の自身の姿について

※ 書面審査・面接審査にあたっては、多様な専門分野の審査員が審査することから、理解しやすいよう分かりやすい表現で記載・発表を行うこと。

応募方法

前ページ記載サイトよりダウンロードした応募申請書および指導教員同意書を応募期間中に提出先メールアドレスまで提出すること。PDFファイル形式で提出すること（添付ファイルサイズは20MB以下）。

応募期間 2025年4月22日（火）9時～2025年5月26日（月）15時（時間厳守）

提出先 sacra@tokai.ac.jp

※Eメールの件名を「SACRA申請-申請者氏名」とすること

※5月28日(水)15時までに受領確認メールが届かない際は事務局へ連絡すること

選考スケジュール

書面審査 2025年5月下旬～6月上旬

面接審査 2025年6月中旬～下旬

結果通知 2025年7月17日(木)・・・大学院第1期合格発表日

採用開始 ①2025年10月1日 または ②2026年4月1日

※今回の公募では①または②のいずれか一つに応募可能。

※採用手続きにかかる書類の提出期限等は別途案内する。

※採用手続きの際に所得証明書類を提出していただくことがある。

問合せ先

東海大学SACRA事務局・Eメール sacra@tokai.ac.jp

*** 詳細は、博士支援ページに掲載される公募要領を参照してください。**

参考情報（関連する選考等のスケジュール）

	SACRA募集 (2025年4月)	SACRA募集 (2025年12月)	大学院入試	特定助手
2025年				
4月22日	SACRA募集開始 ①2025秋採用 ②2026春採用			
5月中旬				特定助手採用スケジュール公開
7月17日	SACRA合否通知 (①&②)		大学院入試第1期 合格発表日	
7月中～下旬	SACRA合否通知後に 特定助手に応募可能			特定助手 募集・調整 開始
8月下旬				特定助手採用面接
9月19日	入学式(秋)		入学式(秋)	
9月22日	秋セメ授業開始			
9月下旬				特定助手最終面接
10月1日	SACRA①秋採用開始			
12月		SACRA募集開始 ①2026春採用 & ②2026 秋採用		
2026年				
2月			大学院入試第2期 合格発表	
4月1日	SACRA②春採用開始	SACRA①春採用開始	入学(春)	特定助手採用開始

キャリア開発・育成コンテンツの概要(1/5)



4つの基礎支援プログラム

- 重層的インターンシップ
- 海外研鑽(協定129大学)
- 博士のキャリア形成講義群
- 特定助手と連携した多層的キャリアパス開発

5つの特色あるプログラム

- 分野横断キャンパス派遣体験
- 地域課題抽出・解決ハッカソン
- 留学生教育・支援
- 全学IT/AI教育
- 博士オートポイエーシス

・重層的インターンシップ

- 採用期間中に1回以上の参加 (必修)
- インターンシップの種類・期間とヒアリングにより達成度を測る

- ①ジョブ型研究インターンシップ事業 (登録必須)
- ②櫛の会ー東海大学経営者クラブー
- ③各キャンパス (北海道・東京・神奈川・静岡・熊本) に隣接する協力企業群
- ④地域を限定しない東海大学大規模企業連合
- ⑤上記に限らず、自身が興味ある企業へのインターンシップ

キャリア開発・育成コンテンツの概要(2/5)

・海外研鑽(協定129大学):海外派遣プログラム(短期研修)

- 採用期間中に1回以上の派遣(必修)
- 計画書・報告書の採点およびヒアリングにより達成度を測る
- 渡航費用(旅費・滞在費)は大学が補助する

グローバルな視野を持ち企業で活躍するためには、体験に即した文化多様性の理解が重要であることから、各国の歴史や教育システム、学術研究の動向とレベル、経済的競争力などを現地で調査する。異国での調査研究を通して、対人スキルを磨き国際的な共同プロジェクトに参加するための素養を習得する。

・博士のキャリア形成講義群

- 採用期間中に1回以上の参加(必修)
- 博士学生が作成したビジネスプランなどの評価
- ヒアリングにより達成度を測る

アントレプレナーシップ教育受講およびビジネススクール受講などにより、企業就職というキャリア選択について認識を深めることを目的とする。起業した学生や教員、技術者、ビジネス人材との交流の機会を提供する。イノベーション創出や経済的波及効果などに貢献することの意義と困難さを理解すると同時に自身の可能性を問う。企業とのマッチングイベントに参加する。※修了単位に認定されるものもある。

キャリア開発・育成コンテンツの概要(3/5)

・特定助手と連携した多層的キャリアパス開発

- 博士進学ガイダンスでの3制度（特定助手・SACRA・JSPS特別研究員）の説明
- 3制度の紹介リーフレット作成と配布
- 半年に1回のキャリア形成相談会
- 隔月の博士学生座談会
- 特別研究員制度申請支援（制度説明会・申請書書き方説明会・申請書査読）

博士オートポイエーシスなどの自己分析を通して具体化した自身のキャリアパスに合わせて、特定助手・SACRA・特別研究員への申請・採用中の切り替えを支援する。

・分野横断キャンパス派遣体験

- 採用期間中に1回以上の参加（必修）
- 派遣は2週間程度
- ヒアリングにより達成度を測る
- 渡航費用（旅費・滞在費）は大学が補助する

札幌または熊本キャンパスの実習場（養殖場や農場などの施設）で2週間程度の滞在期間中に、食や生物に関する特色ある先端研究について現地調査を行う。同時に、実習場にて技術職員の補佐として学生実習運営などを協働することで、専門分野にとらわれない幅広い知識と経験を身に付けることを目的とする。地方キャンパスの学生は、湘南や品川などの首都圏キャンパスへの派遣により、付置研究所や共同利用センターでの実習を行う。

キャリア開発・育成コンテンツの概要(4/5)

・地域課題抽出・解決ハッカソン

- 採用期間中に1回以上の参加（必修）
- 3～4週にわたるプログラム（2時間程度×3回（4回））
- 報告書により達成度を測る

企業人・行政職員・本学教職員らと博士学生がチームを編成し、研究課題設定力の強化につながる課題抽出作業、抽出された課題を解決するための調査やディスカッションなどとりまとめを通じて、ラストパーソンとしての責任感を得るためにリーダーとしてチームを運営する。発表会にて成果を発表する。

・留学生語学教育・就職支援（留学生対象）

- 日本語教育講義（各セメスター2単位相当）を受講（選択）
- 毎セメスター開講
- 日本語検定等により達成度を測る

留学生を対象とする日本語教育特別講座を提供する。受講生のレベルに合わせて初級、中級、上級コースを選択する。聞く・話す・読む・書くの4技能をはじめ、プレゼンテーションを学ぶ体制とする。留学生が日本国内での企業就職を希望する際に、博士学生支援室が中心となって支援にあたる。留学生向け企業マッチング会を行う。※修了単位に認定されない。

キャリア開発・育成コンテンツの概要(5/5)

・全学IT/AI教育（ただし汎用的内容）

- 採用期間中に1回以上の参加（選択・必修）
- 講義（2単位相当）を受講することで1回とカウントする
- 毎セメスター開講
- ヒアリングにより達成度を測る

昨今の情報社会に対応し、自らの専門分野と情報技術とを融合するための基礎知識を習得する。AIやデータサイエンスなどに関する基礎レベル講義を受講する。情報系に所属する博士学生は選択制とする（必修としない）。※修了単位に認定されない。

・博士オートポイエーシス（自己分析）

- 毎年1回参加（必修）、1回は3時間程度×3日間
- レポート・ヒアリングにより達成度を測る

本コンテンツは、博士人材が社会で活躍することの意義について自己分析をふまえて深く考察する機会を提供する。博士課程学生のキャリアパスに多様な可能性があることを認識できる機会とする。国・大学に集積した博士人材データを用いた自己分析や企業研究により、博士のアクティビティ強化を目指す。また、博士人材が、アカデミア以外の職に就き活躍するために必要な、他の分野でも活かせる普遍的な能力について考察し、博士学生のキャリア形成の一助とする。

- ・ 質疑応答



「総合力で未来創造に挑み続ける
博士人財育成プログラム」
(Tokai-SPRING SACRA) 公募説明会